

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	教職教育研究センター(教務機構)
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教職課程履修者への指導・相談体制を強化(神戸三田キャンパスとの格差是正を含む)するために、教職員の増員等を含んだ具体的施策を推進する。	→学生相談室を中心とした教職課程全般にわたる学生支援の強化。スクールサポーター、スクールボランティア、スクールインターシップ等へ参加する学生支援のための事前・事後指導の実施。教員採用試験に向けての学生支援(「教職勉強会」への教員の関わりの強化)。専任教職員の配属による神戸三田キャンパスにおける学生支援活動の充実。	B	B	B	B	
2. 教育委員会等との連携により、教育研究活動の活性化を図る。	→連携協定を結んでいる教育委員会等との共同研究の推進。国及び地方自治体の要請に応じたセンター教員の派遣。教員免許更新講習、教職10年経験者研修の実施。受託研究員の受け入れ。	A	A	A	A	
3. 同窓教員との連携強化を図るために、同窓教員対象の「教職研究会」を主催・共催するとともに、同窓教員を対象としたSNS(social networking service)を拡充していく。	→高弦会(兵庫県高等学校同窓教員の会)、関学教師の会(高弦会を含む、校種、地域を問わない同窓教員の会)等の同窓教員組織との連携強化。同窓教員を対象とした研究会の充実(現在は年6回開催しているが、これを年8回開催に増やす)。同窓教員を対象としたSNSの拡充(現在は参加者数10名であるが、これを200名に増やす)。	A	A	A	A	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	「教職勉強会」は、西宮上ヶ原キャンパスと神戸三田キャンパスで別々に行われていたが、学生同士の連携をはかった。教員による学生支援は継続して行っており、本年度採用の新任教員も参加している。
目標2	センター教員の派遣、教員免許更新講習、教職10年経験者研修の実施等は継続して行っている。また地域の教育委員会との連携協定に取り組んでいる。
目標3	同窓教員を対象とした研究会を本年度は年8回に増やすことができた。同窓教員組織の支援にも継続して取り組んでいる。また同窓教員を対象としたSNSに代わり、さらなる利用者増のために新たな方法（Eメールによる情報発信等）を検討している。
備考	